

ASL

no.3

KANAZAWA ARTSPACE LINK 2016

<http://kanazawartspacelink.tumblr.com>

1期 11/3-12/4

美・鑑

2期 12/10-1/15

エッジ・実験

3期 1/21-2/12

暮らし・デザイン

ART INFORMATION 2017.1.21-2.12

「ASL」とは、金沢21世紀工芸祭の一環として「KANAZAWA ARTSPACE LINK」が発行するフリーペーパーです。

金沢のアートを3つの「傾向」でグルーピングし、2016年11月から2月までの金沢近郊のアート情報を全3回、3期に分けて紹介しています。



金沢21世紀工芸祭

KANAZAWA
ART SPACE LINK

発行：金沢21世紀工芸祭実行委員会
企画・制作：金沢アーツスペースリンク
編集：上田陽子 / 金沢アートグミ
デザイン：林 悠樹 / notto

3期 暮らし・デザイン

金沢のアートスペース各々が日々行動し目指している「傾向」を3つにグルーピングする、第3期のキーワードは「暮らし・デザイン」。作家の作品は勿論、タイポグラフィや本を通じた展覧会、生活雑貨、器、ファッションなども紹介しているアートスペースです。

3期グループ展

8つのアートスペースのグループ展を金沢アートグミにて行います。各スペースでの展示と併せてお楽しみ下さい。

1/21 - 2/12
10:00 - 18:00

会場 金沢アートグミ
金沢市青草町88番地北國銀行武蔵ヶ辻支店3階
定休 水曜・1/28(土)

2/12(日) クロージングパーティー (18:00~ / 参加無料)
どなたでも参加歓迎です。フード、ドリンクをご用意しております。

[展示作家]

- ギャラリー棟 大村大悟
- 陶庵 E Hee Soon
Sang Ki Kim
今野朋子・吉岡正義
- ギャラリートネリコ 福田栄一・河村澄香
伊藤孝英・藤野征一郎
- Books under Hotchkiss 伊藤まさこ 推産書籍
- serif s 山崎 晴太郎
宮川 智志
- [g]ift/ギフト金沢 赤地径
- 茫茫屋 石山哲也・今泉毅
加藤委・金重有邦
- notto 林悠樹



大村大悟展

1/21sat - 2/5sun

大村大悟 Ohmura Daigo

大村大悟(美術家/彫刻家)の個展を開催いたします。作家が近年制作する木製の器と彫刻作品を併せて展示いたします。

ギャラリー棟 Gallery Muku
住所 金沢市東山2丁目1-7
営業時間 11:00-17:00
定休日 木曜
駐車場 6台



常設展

1/21sat - 2/12sun

・E Hee Soon・Sang Ki Kim
・今野朋子・吉岡正義
E Hee Soon/Sang Ki Kim/Konno Tomoko/Yoshioka Masayoshi

陶庵に関わりの深い、韓国、インドネシア、日本の作家4名による展示

陶庵 to-an
住所 金沢市入江2-401
営業時間 13:00-21:00
定休日 木曜
駐車場 6台



小火鉢展

Small Hibachi Exhibition
1/18wed - 1/23mon

福田栄一 Fukuda Eiichi
河村澄香 Kawamura Sumika
伊藤孝英 Ito Takahide

陶芸家による、卓上火鉢の展示・販売。各作家の個性が面白い、置くだけで絵になる小火鉢です。

ギャラリートネリコ Gallery Tonellico
住所 金沢市池田町3-30
営業時間 11:00-18:30 ※展覧会最終日は17:30まで
定休日 火曜 ※日曜のみ12:30-18:30
駐車場 近隣のコインP利用下さい



藤野征一郎漆展

盆・箱いろいろ
Fujino Seiichiro Lacquer Art Exhibition
1/18wed - 1/23mon

藤野征一郎 Fujino Seiichiro

いろいろな技を駆使し、いろいろな形と模様を作り上げる藤野征一郎氏の漆。その多角的な魅力をお楽しみください。

ギャラリートネリコ Gallery Tonellico
住所 金沢市池田町3-30
営業時間 11:00-18:30 ※展覧会最終日は17:30まで
定休日 火曜 ※日曜のみ12:30-18:30
駐車場 近隣のコインP利用下さい



伊藤まさこさんの本棚

2016/11/11fri - 2/12sun

編集 伊藤まさこ Ito Masako

伊藤さんのアトリエには、数々の本が並ぶ大きな本棚があります。伊藤さんのセンスを作ってきた、その200冊を超える本がBUIHに並びます。本のテーマに沿った雑貨も展示。伊藤さんの感覚を養ってきた数々の本と雑貨に囲まれ、伊藤さんの頭の中と感性を覗ける空間です。

Books under Hotchkiss
住所 金沢市広坂1-9-11
営業時間 11:00-20:00
定休日 月曜
駐車場 1台



月曜日のタイポグラフィ

TYPOGRAPHY MONDAY
1/21sat - 2/12sun

山崎晴太郎 Yamazaki Seitaro
宮川智志 Miyakawa Satoshi

意味と記号を纏い定着しようとする文字を、水引を用いて、もう一度平面から解放する。再び中空へ融けていこうとする文字の軌跡。

serif s
住所 金沢市尾張町1-8-7
営業時間 平日11:00-19:00 土日12:00-18:00
定休日 水曜
駐車場 近隣のコインP利用下さい



暮らしの赤

1/21sat - 2/12sun

赤地径 Akaji Kei

赤色の愛らしい器はいつもの暮らしになじみながら、ちょっぴりトクベツ感を演出します。

[g]ift/ギフト金沢 [g]ift KANAZAWA
住所 金沢市広坂1-2-18 1F
営業時間 10:00-18:00
定休日 月曜(祝日の場合翌平日)
駐車場 近隣のコインP利用下さい



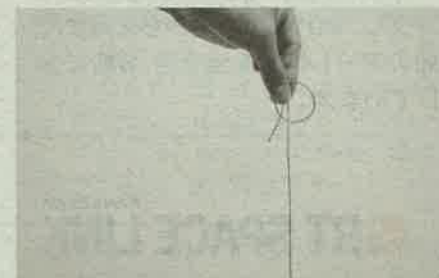
常設展

1/21sat - 2/12sun

・石山哲也・今泉毅
・加藤委・金重有邦 他
Ishiyama Tetsuya/Imaizumi Takeshi/
Kato Tsubusa/Kaneshige Yuho and more

焼き締めや施釉の陶器・磁器など、酒器を中心に食器・花器・茶陶など約150点が並びます。

茫茫屋 Bōbōya
住所 金沢市天神町1-18-8 1F
営業時間 11:00-18:00
定休日 水・木曜
駐車場 3台



一縷 -ichiru-

1/22sun - 2/19sun

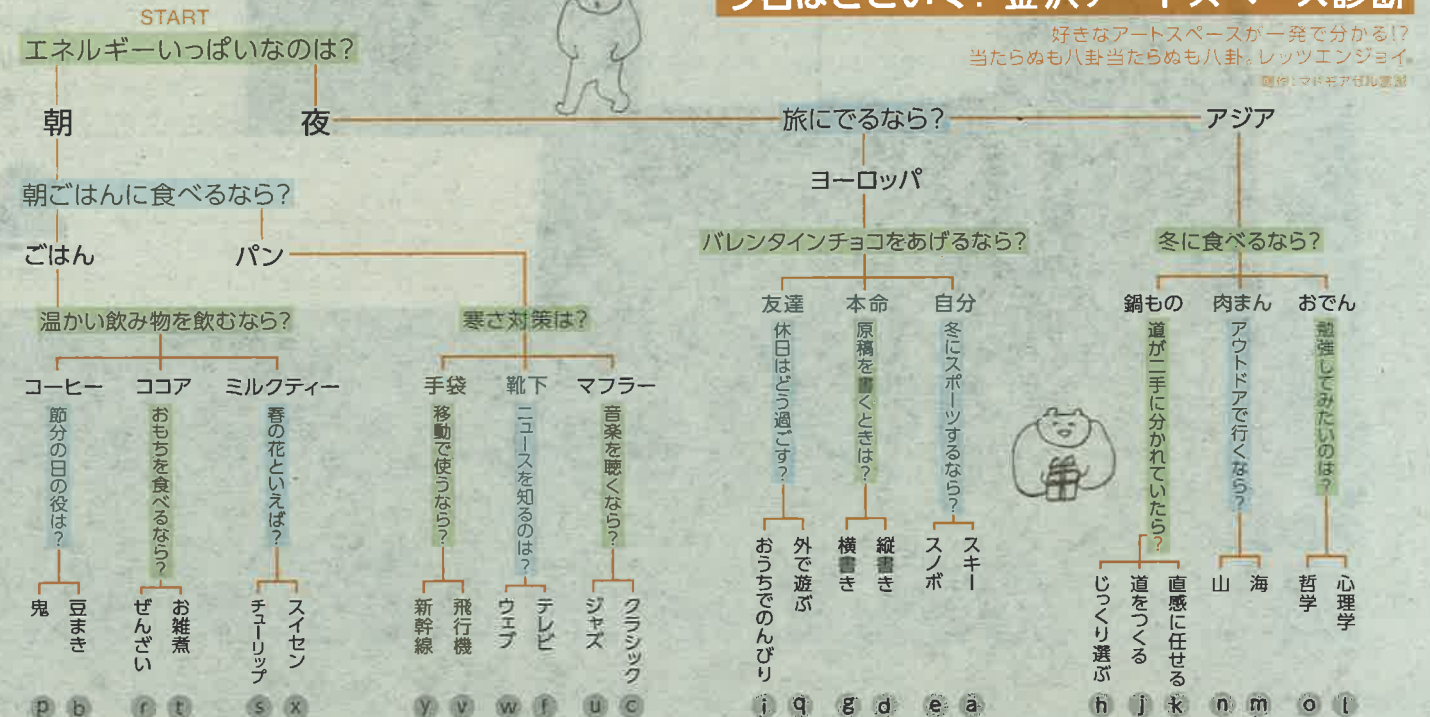
林悠樹 Hayashi Yuki

林悠樹(グラフィックデザイナー)の個展を開催いたします。シルクスクリーン・写真・ドローイングによる新作を展示いたします。

notto
住所 白山市横江町1244-7
営業時間 13:00-19:00
定休日 日曜のみオープン
駐車場 5台

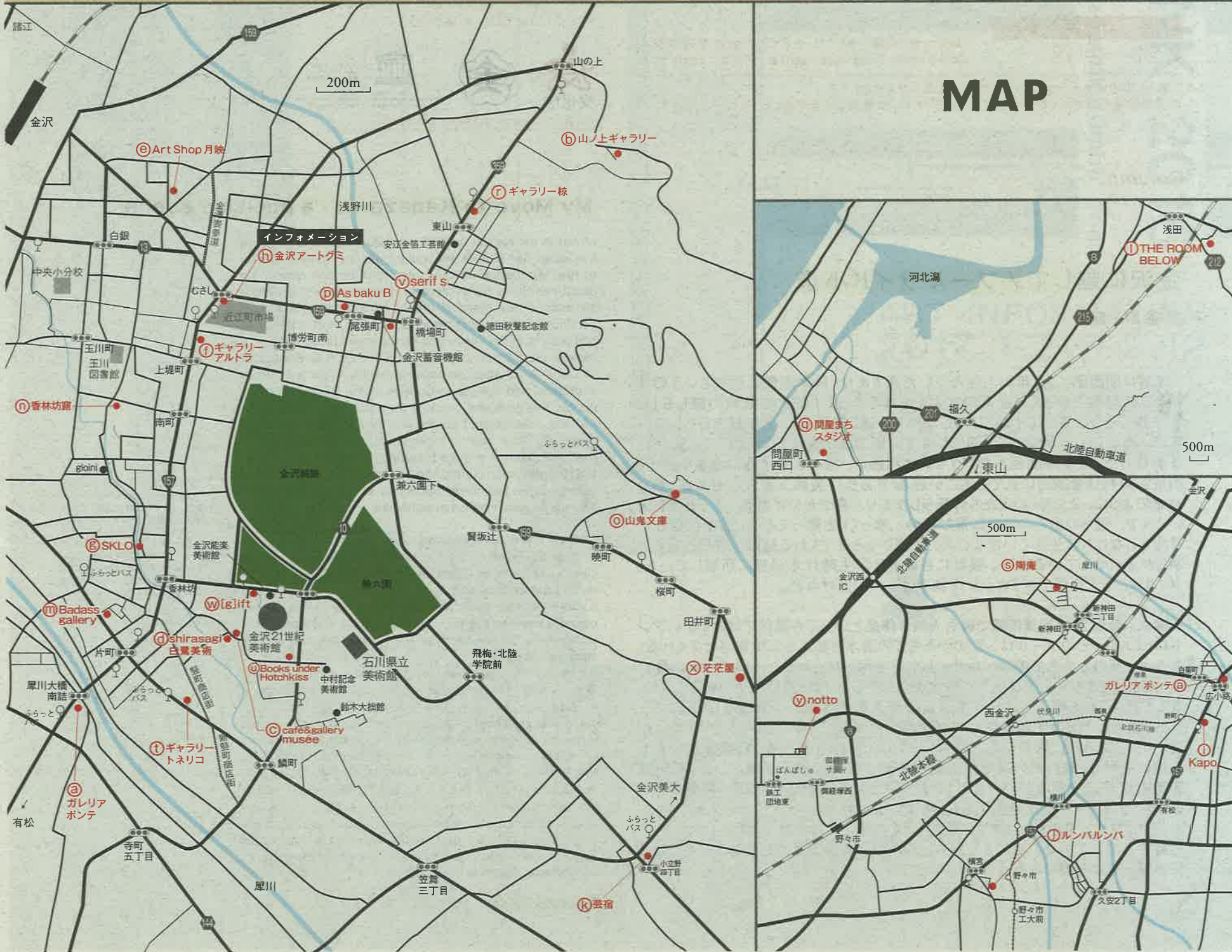
今日はどこいく? 金沢アートスペース診断

好きなアートスペースが一発で分かる!?
当たらぬも八卦当たらぬも八卦。レッツエンジョイ
制作:マドモアザル堂製



Artspace List

<p>1期 美・鑑</p> <p>1期グループ展</p> <p>11/3 (木・祝) → 12/4 (日曜)</p>	<p>ガレリア ポンテ Galleria Ponte</p> <p>金沢市野町1-1-44 宮本ビル1F</p> <p>-11:00-18:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし、近隣Pあり -http://galleria-ponte.art.coocan.jp</p> <p>今という時代を感じさせながらも、普遍性のあるアート企画。</p>	<p>山ノ上ギャラリー Yamanoue Gallery</p> <p>金沢市山の上町25-8</p> <p>-11:00-17:00 -定休日 月曜 -駐車場 4台 -http://www4.plala.or.jp/yamanoue-gallery/</p> <p>卯辰山中腹にあり四季が感じられる感性豊かで落ち着いた空間です。</p>	<p>café&gallery musée</p> <p>金沢市柿木島3-1 2F</p> <p>-12:00-19:00 -定休日 木・金曜 -駐車場 なし、近隣Pあり -TEL 076-263-1187</p> <p>美術館近く、木々の緑と水のせせらぎに包まれたカフェ併設のギャラリー。常時展覧会を開催しております。</p>	<p>shirasagi/白鷺美術</p> <p>金沢市柿木島4-16</p> <p>-20:00-26:00 -定休日 月曜 -駐車場 なし -http://www.shirasagi-art.net</p> <p>一軒家の1階をバー、2階をギャラリーとして運営。演奏会も企画。</p>	<p>Art Shop 月映 Art Shop Tsukibae</p> <p>金沢市北安江18-10</p> <p>-10:00-18:00 -定休日 月曜・年末(12/28-1/3) -駐車場 近隣Pあり -http://tsukibae.com</p> <p>明治に建築された金澤町家にある「Artを身近に」をコンセプトにしたArt Shopです。</p>	
<p>ギャラリー アルトラ GALLERY ARTRA</p> <p>金沢市下堤町7-2</p> <p>-10:00-18:00 -定休日 日曜(企画展の際は不休) -駐車場 なし -http://www.gallery-artra.com</p> <p>1997年開館。伝統工芸を土台にした新しい感性の作家を紹介。</p>	<p>SKLO</p> <p>金沢市香林坊2-12-35</p> <p>-11:00-19:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし -http://sklo.jp</p> <p>SKLOでは、3F展示スペースを使って年に数回企画展を行っています。</p>	<p>金沢アートグミ Kanazawa Artgummi</p> <p>金沢市青草町88番地 北國銀行武蔵ヶ辻支店3階</p> <p>-10:00-18:00 -定休日 水曜・12/28-1/4 -駐車場 なし -http://gallery.artgummi.com</p> <p>2009年に開館。現代美術を中心に市民からなるNPO法人が企画・運営を行う。</p>	<p>2期 エッジ・実験</p> <p>2期グループ展</p> <p>12/10 (土曜) → 1/15 (日曜)</p>		<p>ルンパルンパ rempah rempah</p> <p>野々市市本町1-29-1 スマイリー1F</p> <p>-11:00-20:00 -定休日 水曜 -駐車場 4台 -https://www.facebook.com/rempahrempahball</p> <p>2011年開館。現代アート、工芸を中心に企画展を開催。県内外からも注目を集める作家の美術館として機能している。</p>	
<p>芸宿 ge-Shuku</p> <p>金沢市石引1-16-28</p> <p>-不定 -定休日 不定休 -駐車場 なし -https://www.facebook.com/geshuku/</p> <p>自分にとって、また誰かにとって都合のいい場所。</p>	<p>THE ROOM BELOW</p> <p>河北郡津幡町東荒屋186</p> <p>-13:00-17:00 -定休日 不定休 -駐車場 なし -https://www.facebook.com/theroombelow.artgallery/</p> <p>アーティストが運営する画廊でアウトサイダーアートを扱う。</p>	<p>Badass gallery</p> <p>金沢市片町2-3-21</p> <p>-14:00-20:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし -https://www.facebook.com/Badass-Gallery-1575349916087069/</p> <p>日本独自の美を追求していきたく動きます。是非CHECKして下さい。</p>	<p>香林坊窟 Korinbo-Kutsu</p> <p>金沢市香林坊2丁目11-27</p> <p>-13:00-18:00 -12/10・11、12/17・18、12/23-25、1/7・8のみオープン -駐車場 なし -Facebookページあり</p> <p>2010年に多様な人間と活動が集まる場を目指して始めました。</p>	<p>山鬼文庫 Sanki Bunko</p> <p>金沢市桜町5-27</p> <p>-10:00-17:00 -定休日 火・水・木曜 -駐車場 3台 -sankibunko.com</p> <p>山鬼文庫は築百年の町家、美術本の図書館兼ギャラリーです。</p>	<p>As baku B</p> <p>金沢市尾張町2-10-6</p> <p>-11:00-18:00 -定休日 展覧会開催時のみオープン -駐車場 2台 -as-baku.com</p> <p>2010年に開館。工芸を中心に、金沢在住の作家らが企画・運営を行う。</p>	
<p>問屋まちスタジオ TOIYAMACHI-STUDIO</p> <p>金沢市問屋町1丁目90</p> <p>-展覧会開催時のみオープン -定休日 不定休 -駐車場 あり -http://toyamachi-studio.com</p> <p>金沢美術工芸大学と協同組合金沢問屋センターが協定を締結、旧印刷工場を活用してオープン。</p>	<p>3期暮らし・デザイン</p> <p>3期グループ展</p> <p>1/21 (土曜) → 2/12 (日曜)</p>		<p>Gallery 椋 Gallery Muku</p> <p>金沢市東山2丁目1-7</p> <p>-11:00-17:00 -定休日 木曜 -駐車場 6台 -http://gallerymuku.com</p> <p>明治の佇まいを残す金澤町家のギャラリー。高い吹き抜けの土間と座敷で展示スペースをなっている。カフェも併設。</p>	<p>陶庵 to-an</p> <p>金沢市入江2-401</p> <p>-13:00-21:00 -定休日 木曜 -駐車場 6台 -http://to-an.jp</p> <p>1Fは陶芸工房、2Fはカフェギャラリー</p>	<p>ギャラリー トネリコ Gallery Tonellico</p> <p>金沢市池田町3-30</p> <p>-11:00-18:00(最終日は17:30まで) -定休日 火曜 -駐車場 なし -http://www2.spacelan.ne.jp/~tonellico/index2.html</p> <p>金沢のまちなかで、色々なジャンルの展覧会を開催しています。</p>	<p>Books under Hotchkiss</p> <p>金沢市広坂1-9-11</p> <p>-11:00-20:00 -定休日 月曜 -駐車場 1台 -http://booksunderhotchkiss.com</p> <p>アーティストの顔の中を、本によって覗くことができる、金沢の新しい本屋です。</p>
<p>serif s</p> <p>金沢市尾張町1-8-7</p> <p>-平日/11:00-19:00 -土日/12:00-18:00 -定休日 水曜 -駐車場 なし -http://serif-s.com</p> <p>本とギャラリーでつくるタイポグラフィ専門の古書店&ギャラリー。</p>	<p>[g]ift/ギフト金沢 [g]ift KANAZAWA</p> <p>金沢市広坂1-2-18 1F</p> <p>-10:00-18:00 -定休日 月曜(祝日の場合は翌平日) -駐車場 なし -http://www.gift-hokuriku.jp</p> <p>メイドイン北陸のいいものを集めた魅力満点のセレクトショップ。</p>	<p>茫茫屋 Boboya</p> <p>金沢市天神町1-18-8 1F</p> <p>-11:00-18:00 -定休日 水・木曜 -駐車場 3台 -http://www.boboya-kanazawa.com</p> <p>やきもの・器の店。日常の器からこだわりの逸品まで。</p>	<p>notto</p> <p>白山市横江町1244-7</p> <p>-13:00-19:00 -定休日 月～土曜 -駐車場 4台 -http://www.notto.jp</p> <p>「遺響と手元」をコンセプトに、デザインオフィス、セレクトショップ、版画工房を運営しています。</p>		<p>Note ご注意</p> <p>ASL no.2に記載している各期以外の時期に、展覧会を行っているアートスペースがあります(例:1期グループのギャラリーが2期、3期の時期に展示)。気になる方はお問合せください。</p> <p>各スペースでの企画展自体は、3のキーワード「美・鑑」「エッジ・実験」「暮らし・デザイン」に必ずしも沿っている訳ではありません。</p>	



KANAZAWA ARTSPACE LINK 2016

金沢アートスペースリンクは2012年に発足した、金沢市近郊に点在するギャラリー、アートスペースの寄合です。メンバーを特定せず年1回のペースで企画を行ってきました。

5年目となる今年は「金沢21世紀工芸祭」の1コンテンツとして、2016年11月から2017年2月の4か月間、「金沢アートスペースリンク2016」を開催します。金沢の美術シーンがいきいきと対流していくための土壌づくりを目的とし、アートスペース各々が、日々行動し目指している「傾向」を3つにグルーピングし、金沢アートグミでのグループ展等を行います。金沢21世紀工芸祭は5ヶ月の“期間”がありますが、私たちの営みは前にも後にも続いています。本企画は、アートスペースの個を発見すること、新しい出会いの機会をつくること、そして、それぞれが目指す「傾向」から金沢の未来を思い見る試みです。

1期 美・鑑

11/3 - 12/4

ギャラリー ポンテ / 山ノ上ギャラリー / cafe&gallery musée / shirasagi 白鷺美術 / Art Shop 月映 / ギャラリー アルトラ / SKLO / 金沢アートグミ

“金沢で、うつくしい表現を考える。”
工芸を中心に扱うスペースが多く、コンスタントに堅実な企画を行っています。

2期 エッジ・実験

12/10 - 1/15

Kapo / ルンバルンバ / THE ROOM BELOW / Badass gallery / 芸宿 / 香林坊窓 / 山鬼文庫 / As baku B / 問屋まちスタジオ

“中心と同縁。表現とは綺麗なものばかりではなく、多義的なものだ。”
アーティスト運営スペース、私設図書館やパー併設など実験的な企画運営を行うスペースを集めました。

3期 暮らし・デザイン

1/21 - 2/12

Gallery 椋 / 陶庵 / ギャラリートネリコ / iglift ギフト金沢 / Books under Hotchikiss / serif s / 茫茫屋 / notto

“暮らしの中にあるうつくしさは、気持ちを柔らかくする。”
作家の作品だけでなく普段使いのもの、デザインや書籍にも目が向いたスペース群です。

Kanazawa Art Space Link is an association of galleries and art spaces in Kanazawa and nearby areas. We have been carrying out art projects once a year without specifying the participants.

This is the fifth year of our association, and we will hold “Kanazawa Art Space Link 2016” as part of “Kanazawa 21st Century KOGEI Festival,” which will run for four months, from November 2016 to February 2017. The purpose of our event is to facilitate communication in the Kanazawa art scene. Art spaces are categorized into three groups according to their trends and objectives, and group exhibitions will be held at Kanazawa Artgummi.

Although “Kanazawa 21st Century KOGEI Festival” will be held for a fixed period, our activities start before and continue after the festival. We will try to find the particularities of art spaces, create occasions for meeting new people, and get an idea of the future of art in Kanazawa, based on exhibition trends.

金沢アートスペースリンク2016

期間 2016年11月3日～2017年2月12日

参加スペース 25

お問合せ 金沢アートスペースリンク (tel 076-225-7780)

web <http://kanazawartspacelink.tumblr.com>

金沢21世紀工芸祭

コンテンツ 趣膳食彩 / 工芸回廊 / 金沢みらい茶会 / 金沢みらい工芸部 / 金沢アートスペースリンク

主催 金沢創造都市推進委員会 金沢市

共催 公益社団法人金沢青年会議所 NPO法人趣都金澤

金沢アートスペースリンク

事務局 金沢21世紀工芸祭実行委員会 (株式会社ノエチカ内)

web <http://21c-kogei.jp>



平成28年度 文化庁、文化芸術による地域活性化推進事業実施要綱
Supported by the Agency for Cultural Affairs (Government of Japan) in the fiscal 2016

Column

金沢に越して / プールサイド小景

長谷川 新

筆者は関西圏に20年以上住んでいた身であり、日本海側に住むというのは初めての経験であった。金沢の友人たちはそろって「金沢の気候の厳しさ」を半ば嬉しそうに脅してくる。しかしながら、越して半年以上が経とうとしているが、幸いにも金沢はとても暮らしやすい街であり続けてくれている。食べ物は美味しく、東京や関西へもアクセスは容易だ。様々な文化施設もあり(金沢市民芸術村は全国的に見てもすごい施設である)、美術工芸大学もある。当たり前のように、たくさんの人たちの暮らしがあり、息づかいがある。ふっと息を吸いこんで、彼らの営みのなかに飛び込み、ゆっくりと潜ってみる。潜水。自分が呼吸をしなければ生きていけないのだと思いしらせてくれる経験。昨日と今日と明日が溶け合っている感触。偶然にも筆者は学生時代水泳部に所属していた。タイムは、全く自慢できるような代物ではないのだけれど。

潜水。金沢21世紀美術館で最も人気な作品といっても過言ではない、レアンドロ・エルリッヒのプールは、別のかたちでの潜水を私たちに体験させてくれる。あるいは別のかたちでのプールサイド小景を示してくれる。このプールに飛び込むことはできない。飛び込むべき水面は目を凝らせば他にたくさんあるからだ。ところで、これを読んでいる方は、「日本海造形会議」という集団を御存知だろうか。筆者は彼らの記録集をなぜか沖縄の古本屋で手に入れた。1978年に結成され、2008年に解散したこのグループは、当時著名であった美術関係者を金沢に招聘し、草の根の前衛芸活動を推進してきた。彼らが提起した「石川県新美術館設立意見書」(1978年)を紐解くと、美術館の機構図が掲載されている。「大ホール」「屋外展示場」「映像室」だけでなく、「ベビーシッタールーム」や「スナックルーム」などもある。そしてそこには、ひっそりと「水プール」と書き込まれている。ありえたかもしれないプールサイド小景はこんなところにも潜んでいるのである。

My Move to Kanazawa - a poolside scene

I lived in the Kansai area for over 20 years, and living on the Japan Sea side of the country was my first experience of life. My friends in Kanazawa told me half-mockingly about the city's harsh climate. However, now that almost six months have passed since I moved here, Kanazawa continues to be a good place to live. The food is delicious and access to the Tokyo and Kansai areas is easy. What's more, there are many cultural facilities such as Kanazawa Citizens' Art Center (an amazing facility even by national standards) and Kanazawa College of Art. Of course, many people live here and conduct their daily activities. After taking a deep breath, I jumped into their activities and dived slowly. "Diving" was an experience that made me realize that I cannot live without breathing. It felt like yesterday, today and tomorrow melted together. As it happens, I belonged to a swimming club in my school days, although my time in swimming is not something I can be proud of.

"A Dive" It is no exaggeration to say that "Swimming Pool," by Leandro Erlich, is the most popular artwork in the 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa. It gives us an experience of diving in a different way, or it shows us a scene from the poolside in a different way. However, we cannot jump into this pool. However, there are many other water surfaces we can dive into, which we can see by straining our eyes.

By the way, have you heard of the creators' group "Nihonkai Zokei Kaigi"? I bought their picture book at a secondhand bookstore in Okinawa. The group, which was formed in 1978 and dissolved in 2008, invited distinguished people related to the arts to Kanazawa, and promoted grassroots avant-garde artistic activities. In their "Written Opinion for the Establishment of a New Art Museum in Ishikawa Prefecture" (1978), there is an organization chart, which includes not only a large hall, open-air exhibition site and video room, but also a child-minding room and a snack room. There are also the stealthily written words "water pool." A scene from a poolside which is within the realm of possibility is hidden in such a place.

Arata Hasegawa

プロフィール

1988年生まれ。インディペンデント・キュレーター。「北加賀屋クロッシング 2013 MOBILIS IN MOBILI-交錯する現在」展においてチーフキュレーターを務める(2013-2014)。主な企画に「無人島にてー[80年代]の彫刻 / 立体 / インスタレーション」(2014)、「パレード・キョート / 現実のたてる音」(2015)など。現在「クロニクル、クロニクル!」開催中。